

製品名: RREB1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17382**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	180kDa

抗原情報

遺伝子名	RREB1
別名	RREB1; FINB; Ras-responsive element-binding protein 1; RREB-1; Finger protein in nuclear bodies; Raf-responsive zinc finger protein LZ321; Zinc finger motif enhancer-binding protein 1; Zep-1
遺伝子 ID	6239.0
SwissProt ID	Q92766
免疫原	抗血清はヒト RREB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 560-609

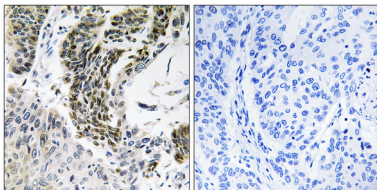
背景

ras 応答配列結合タンパク質 1 (RREB1) ホモサピエンスこの遺伝子によってコードされるタンパク質は、遺伝子プロモーターの RAS 応答配列 (RRE) に結合するジンクフィンガー転写因子である。カルシトニン遺伝子プロモーターには RRE が含まれており、コードされているタンパク質がそこに結合してカルシトニンの発現を増加させることが示されており、これは Ras/Raf を介した細胞分化に関係している可能性がある。この遺伝子には、いくつかの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009 年 12 月]、機能: 遺伝子プロモーターの RAS 応答配列 (RRE) に特異的に結合する転写因子。カルシトニン発現を増強することにより、Ras/Raf を介した細胞分化に関与している可能性がある。アンジオテンシノーゲン遺伝子を抑制します。AR の転写活性を負に制御します。NEUROD1 の転写活性を増強する。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。、配列注意: コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性はある。、配列注意: 多数の配列エラーがある。、配列注意: 翻訳が N 末端側まで延長されている。、類似性: Krueppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。、類似性: 15 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含む。、サブユニット: NEUROD1 および AR と相互作用する。、組織特異性: 心臓、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で発現する。脳には存在しない。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; ジンクフィンガー; シグナル伝達; シグナル伝達経路; 核シグナル伝達; 核ホルモン受容体; テストステロン; ポリメラーゼ関連因子; ポリメラーゼ II 転写; 核シグナル伝達経路; 核受容体; 転写因子

画像データ



RREB1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。